

牧草リードカナリーグラス品種「パラトン」「ベンチャー」

リードカナリーグラスは、草生維持が容易であることから作付けが拡大しているが、普通種は家畜の嗜好性がやや劣ることが欠点である。

低アルカロイド品種の「パラトン」、「ベンチャー」には、普通種と同等の収量性があり、家畜の嗜好性が良く、良質粗飼料生産に役立つものとして期待される。

表1 収量 (3ヶ年平均: kg/10a)

項目	パラトン	ベンチャー	普通種
生草収量 (指数)	7,846 (107)	7,200 (98)	7,332 (100)
乾物数量 (指数)	1,452 (105)	1,343 (97)	1,381 (100)

「パラトン」「ベンチャー」は、普通種と同等から優る収量性がある。

表2 採食量比較 (福島畜試 H3: kg)

項目	パラトン	ベンチャー	普通種
1番草(1)	125.8	117.1	53.1
2番草(1)	85.0	11.3	0.0
3番草(16)	1,145.5	1,091.8	406.5

注):()内は採食時間

いずれの時期においても普通種より採食量が多い。



写真1 リードカナリーグラス

表3 ロールベールサイレージ(450kg)の採食量比較 (kg)

項目	比較1		比較2		比較3		比較4	
	出穂前	出穂期	出穂前	出穂期	出穂前	出穂期	出穂前	出穂期
残量	0	100	0	0	0	430	0	160

出穂後は急速に嗜好性が低下するので、1番草は出穂前の刈り取りを徹底することが必要である。